
大規模過ぎる五武山市での逃走中～スマブラ＋とある魔術の禁書目録＋α～

ほーき雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大規模過ぎる五武山市での逃走中／スマブラ＋とある魔術の禁書目録＋α

【Nコード】

N4121Y

【作者名】

ほーき雲

【あらすじ】

史上最大規模の逃走中が今、始まる！逃走者150人、逃げ切れば1800万円！逃げ切るのは誰だ！？

当麻「これ学園都市でやるんじゃないの？」

ほーき雲「違うんだよ。エリアはやっぱり僕が作った架空の都市、五武山市だよ。」

ゲーム説明

五武山市のある場所にて、学園都市と五武山市の間で友好関係が結ばれた。そしてこれが、史上最大規模の逃走中の始まりであった。

ゲームはマスターハンドとアレイスターと作者(?)が管理。クロノス社の月村サトシはマスターハンドの手によって今回は関連しないことになった。

参加者は150人。名前のみの紹介

スマブラ系45人

マリオ

ルイージ

ピーチ

ヨッシー

クッパ

ドンキーコング

デイドーコング

ワリオ

カービィ

デデデ
メタナイト
ネス
リユカ
サムス
リンク
ゼルダ
トウーンリンク
ガノンドロフ
ピット
レッド
リザードン
ゼニガメ
フシギソウ
ピカチュウ
ピチュー
ルカリオ
プリン
フォックス
ファルコ
ウルフ
ソニック
スネーク
オリマー
赤ピクミン
青ピクミン
黄ピクミン
紫ピクミン
白ピクミン
ポポ

ナナ

キャプテンファルコン

ロボット

Mrゲーム&mp;ウォッチ

アイク

マルス

とある魔術の禁書目録系21人

上条当麻

インデックス

御坂美琴

御坂妹10032

御坂妹10033

御坂妹10034

御坂妹10035

打ち止め

一方通行

白井黒子

月詠小萌

土御門元春

土御門舞夏

青髪ピアス

風斬氷華

ステイルⅡマグヌス

神裂火織

冥土歸し

姫神秋沙

アウレオルスⅡイザード

芳川桔便

その他何でもあり84人

どせいさん

モンキーDルフィ

ロロノアゾロ

ナミ

ウソップ

サンジ

チョッパー

ロビン

フランキー

ブルック

外辺久（オリキャラ）

レアライトロード（オリキャラ）

物上由衣（オリキャラ）

ライブラリ（オリキャラ）

キノピオ

キノピコ

キノじい

デイジー

ワルイージ

クリボー

緑ノコノコ

赤ノコノコ

緑パタパタ

赤パタパタ

カメック

ハンマーブロス
ファイアブロス
ブーメランブロス
カロン
ヘイホー
テレサ
ベビィマリオ
ベビィルイージ
ノワール伯爵
ディメーン
ドドンタス
ナスタシア
マネーラ
いも（オリキャラ）
いも2（オリキャラ）
たぬきち
まめきち
つぶきち
つねきち
リセットさん
あやしいネコ
しらさん（募集より）
成歩堂龍一
御剣怜侍
綾里真宵
狩魔冥
ゴドー
裁判長
王泥喜法介
成歩堂みぬき

牙琉響也
一条美雲
狼士龍
東和馬
東稻穂
東馬太郎
東馬三郎
河内恭介
梓川月乃
梓川水乃
梓川雪乃
諏訪原戒
松代健
木下陰人
黒柳亮
マイスター霧崎
冠茂
ピエロ・ボルネーゼ
ドラえもん
野比のび太
源静香
骨川スネ夫
剛田武
ドナルド・マクドナルド
キョロちゃん
ペコちゃん
藤田（クロノス社支部）
藤川（クロノス社支部）
藤江（クロノス社支部）

逃走時間1000分（約16時間）。賞金1秒300円。逃走成功で1800万円。（!!!!!!!!!!）

エリアは五武山市五武山町。広さは東京ドーム50個分。

次回より史上最大規模の逃走中が始まります。

オープニングゲーム

「これより、ゲームを始める。君達の前にいる3体のハンターはボックスの中に閉じ込められている。目の前にある色分けされた鎖は全部で60本。そのうち1本だけがボックスの扉を開放するハズレの鎖。それを引くと3体のハンターが解き放たれ、ゲームがスタートする。」

インデックス「エリアは相当広いつて聞いたよ。なのにハンター3体しかないの？」

ネス「おかしい、逃走者は全部で150人いるはず。なのに鎖が60本しかないなんて。」

マスターハンド「答えてあげよう、まず本編と同様にくじをひく。そのうち90本は当たりで先に逃げられる。しかしそれ以外の60本は今まで通り1〜60までの番号が書いてあるからその順番で鎖を引いてもらうよ。そもそもこんなところに150人もいたら狭いでしょ。だから60人にしぼるんだ。」

当麻「3分の2の確率で当たりか。」

インデックス「とうまが当たりを引くと思ってるの？」

当麻「ムカつく……。」

そしてくじを引き、全員の順番が決まった。当然上条当麻は鎖を引くことになった。しかし、当麻のことを笑ったインデックスは1番に鎖を引くことになった。

インデックス「じゃあこのレモン色。」

クリアか？ハンター放出か？

ガチャン

シーン

インデックス、クリア。

残り59本。

続いてスマブラメンバー、ウルフ。

ウルフ「そんじゃ銀色。」

ガチャン

シーン

ウルフ、クリア。

残り58本。

続いてはスーパーペーパーマリオから登場のディメーン。

ディメーン「紫でも引こうかな。」

ガチャン

シーン

ディメーン、クリア。

続いて藤江がオレンジを引いてクリア。

リュカが赤を引いてクリア。

クリボーが茶色を引いてクリア。

続いて鎖を引くのは、しらだ。

マリオ「なんでしらがいるんだよ!」

ほーき雲「募集による参加。こいつは僕が相手するからしらさんは鎖を引いてください。」

マリオ「おかしいだろ、しらがでるなんて。」

ほーき雲「これ以上文句言ったら強制失格にするよ。」

マリオ「……。」

ほーき雲「では、しらさん。どうぞ。」

しら「それじゃ白を引こう。」

ガチャン

シーン

クリア

残り53本

続いて焼きたてジャぱんから参加。アフロ店長、松代健。

松代「黒引いてみるか。」

ガチャン

シーン

クリア

残り52本

続いて成歩堂龍一が青を引いてクリア。

アウレオルスIIイザードが緑を引いてクリア。

東馬三郎がレインボーを引いてクリア。

プリンはピンクを引いてクリア。

続いて不幸体質の上条当麻。

当麻「この透明（金箔入り）を引いてみよう。」

果たして上条当麻の運命は！？

当麻「引くぞ！」

ガチャン

ガ
コ
ン

ハンター放出。

当麻「不幸だ。」

しかし当麻は逃げる途中、誰かを抜いた。

紫ピクミン「こっち来たあ。」

紫ピクミンだ。

こんなデブがハンターを撒ける訳も無く・・・。

ポンッ

紫ピクミン確保。残り149人。

確保情報はメールで通知される。

オリマー「紫ピクミン捕まった・・・。」

くじが当たりだったため、先に逃げていたオリマー。紫ピクミンの確保が悲しいようだ。

その頃、タブーは何かをたくらんでいた。

タブー「しかし逃走者が邪魔だな。まずは逃走者を減らすとしよう。」

タブーは『HUNTER BOX 25』を押した。

残り996..00 逃走者149人

続く

オープニングゲーム（後書き）

だいたいどんなミッションが出るかわかりましたよね？

MISSION&YAMADA'S SHOP(前書き)

ゲスト参加募集より、郡司侑輝さんが登場します。

MISSION 1 & a m p ; Y A M A D ' s S H O P

タブーの企みは止まらない。五武山市に現れたタブーは宅配便に変身した影虫を連れてとある家の前に行った。

宅配便「宅配便です。」

郡司「はい。・・・ってうわぁ！」

そこに住んでいたのは募集参加の郡司侑輝さんだ。

タブー「こいつで構わん。連れて行け。」

こうして郡司さんはタブーにさらわれてしまった。

一方逃走者と言えますと。

一方通行「アクセラレータン、メールかア？」

【MISSION 1】タブーの手によって25個のハンターボックスが設置された。残り975分になるとハンターが放出される。阻止するにはハンターボックスの扉をロックしなければならない。さ

らに、今から3分間裏切り者を募集する。裏切り者は先着1人のみ。裏切り者は逃走者の居場所をハンターに伝え、確保されたら賞金10万円獲得となる。

ガノンドロフ「よし、裏切ろう。……もしもし、えっ!!!
もう先に裏切ったやつがいるだろ!?!」

出ました恒例の「裏切り者を募集してガノンドロフが裏切ろうとしたら誰かが先に裏切ったパターン」。

一方ミッシェンの方については……。

ゾロ「ハンター放出阻止するか。」

ネス「よし、行こう!」

ブルック「ハンター放出されたら確実に死にますからね。行きましよう。まあもう死んでますけどね。によほほほほ。」

馬太郎「わしじゃ無理だ。和馬に頼もう。」

和馬「おっ、電話じゃ。なんだ?馬太郎じいちゃん。」

馬太郎「おお、和馬。ミッション行ってくれないか?」

和馬「おう!行くぞ!」

ゾロ、ネス、ブルック、東和馬とそれ以外にも何人かミッションに向かうようだ。

ネス「1個見つけた！」

ガシャン

残り24個

ステイル「これがハンターボックスだな。」

ガシャン

残り23個

カービィ「あっちにハンターボックス見つけたからそれだけやって
おこう。」

そのカービィの近くにハンター。

カービィ「ハンターだ！」

ハンターに気づいて逃げるカービィ。

ハンター「・・・！」

見つけた。

必死に逃げるカービィ。しかし、何かにぶつかった。

水乃「わぁ。何!？」

梓川水乃だ。

カービィ「ハンター来てるよ！」

水乃「逃げよう。」

2手に別れて逃げるカービィと梓川水乃。ハンターが視界にとらえたのは……

水乃「こっちなのおう。」

梓川水乃だ。

どんどんハンターとの距離は縮まり……。

ポン！

梓川水乃確保、残り148人。

カービィ「ハンターボックスの場所見失ったなあ。」

しかしカービーが見失ったハンターボックスの近くに誰かが現れた。

ピット「あつ、ハンターボックスだ！」

ガシャン

残り22個

外辺久「どこだハンターボックス？」

ハンターボックスを探す不幸体質外辺久の近くに、同じ不幸体質の上条当麻だ。

当麻「おや？不幸な外辺久君じゃないか。」

久「お前も不幸体質だろ！」

そこに2体のハンター。……って言うか東京ドーム50個分という広いエリアにハンター3体中2体近づいて来るってさすが不幸体質×2だけのことはある。

ハンター×2「……！」

見つかった。

なんと2人は同じ方向へ逃げて行く。

ハンター×2「……？」

2人共うまく撒いたようだ。

当麻& a m p; 久「久（当麻）の不幸体質のせいでハンター2体も来やがった。」

当麻「お前のせいだろ！」

久「いや、お前のせいだ！」

これ以上はきりがないので無視します。

どせいさん「あつ、黄ピクミンだ。」

どせいさんと黄ピクミンが出会った。

黄ピクミン「ミッション行く？」

どせいさん「行こうと思っているんだ。」

黄ピクミン「それじゃ、行こうか。」

ミッションに行く者がまた増えた。

10032「おや、上位個体じゃないですか。とミサカは言ってみます。」

10034「ミッションはどうしますか？とミサカは下位個体に質

問します。」

10032 「私は行く気はありません。とミサカは上位個体の質問に答えます。」

10034 「ハンターですよ。とミサカは下位個体に警告します。」

2人の御坂妹の近くにハンター。

ハンター「・・・・・・・・!!!!」

しかしハンターは別の逃走者を見つけた。

マリオ「ちくしょう、ハンターだ。」

それはマリオだった。

しかし、ハンターとの距離が近かったのがいけなかったのか……

ポン!

マリオ確保、残り147人。

その頃、エリア東側のとある場所。

ネス「なんか変わった店ですね。」

D「そう？ここは『YAMAD's SHOP』っていう店の本店だよ。『ヤマディーズ ショップ』って読むんだ。僕は総合店長のD。他にも逃走エリア内にここを入れて8ヶ所。五武山市内だところを入れて約40ヶ所も店を展開しているんだ。さらに逃走者には逃走者用永久無料券ってやつがあるはずだけど。」

ネス「あつ、これだね。」

D「それぞれ、それは逃走中が終わるまでずっと持っていていられるからね。」

このYAMAD's SHOPがのちに重要な役割を果たす。

ゾロ「おつ、ハンターボックスだ。」

ガシャン

残り20個

デイジー「ハンターボックスねえ、どこかな？」

そこに裏切り者。

??? 「デイジー、デパート五分五分ごんごんの近くにいます。」

1体のハンターがデイジーに近づく。逃げ切れるか!?

残り986..30 逃走者147人

続く

MISSION & YAMADA'S SHOP (後書き)

タブー「これでこの五武山市は俺の物……。逃走者さえいなくなれば……。フッフッフッ。」

マスターハンド「しかしなんでタブーがハンターを放出させるんだ？」

ほーき雲「もしかして逃走者を減らすのが目的かも。」

マスターハンド「何にしろタブーが関わっているのは非常に危険だ。気をつけた方が良い。」

アレイスター「……………」

MISSION 1 終了 (前書き)

ミッションの結果はどうなるのでしょうか？

MISSION 1 終了

裏切り者の通報によりデイジーがハンターに見つかった。

やっぱり逃げられないのか……。

ポン！

デイジー確保、残り146人。

ピーチ「何？デイジー確保！？裏切り者！？」

リンク「ガノンか。」

勝手に裏切り者がガノンだと決めつけるリンク。しかし、裏切り者はガノンではない。

しら「裏切り者になりたかったなあ。」

実はしらさんも裏切り者になろうとしていた。しかし、それより早く立候補したやつがいるのだ。

しら「あれハンターボックスじゃん。」

ガシャン

残り19個

どせいさん「あっハンターボックス。でも届かないよ。」

背が低すぎて放出阻止レバーに手が届かないどせいさんと黄ピクミン。

黄ピクミン「あれ？裏に誰がいる？」

誰かが裏にいるのに気づいた黄ピクミン。裏にいたのは…………。

スネーク「なんだ、黄ピクミンか。」

スネークだ。

スネーク「…………ってこれハンターボックスだったのか!？」

気づいていなかったようだ。

ガシャン

残り18個

トウーンリンク「あつ、ゼルダだ。裏切り者は…………」

ゼルダ「ガノン。」

トウーンリンク「まだ言い終わって無いのに。」

ちなみに、裏切り者はガノンではない。

スマブラ逃走中お約束の出来事。ガノンは裏切り者ではないが、やたらと疑われる。

ガノンドロフ「いつも同じなんだよ。裏切り者じゃないのに裏切り者だなんて言われて、しかも何の根拠も無いのに。」

愚痴を言う魔王……。

キョロちゃん「ハンター全然いないクエッ。」

インデックス「あつ、キョロちゃんだ。」

キョロちゃんとインデックスが会おう。しかし出会って一緒に行動することになっただけで何もなし。(笑)

インデックス「その言い方ひどいかも。」

類似「ほーき雲は僕のこと嫌いじゃないから安心……ってな
んで類似にするんだよ！ほーき雲は僕のことむしろ好きだって言う
から安心してたのに。」

ほーき雲「ギャグだよ。ギャグ。」

管理室で、ほーき雲はモニターを見ながらそう言った。

ブルック「やっと見つけましたよ。」

ガシャン

残り17個

そしてあちこちで

ガシャン

ガシャン

ガシャン

ガシャン

ガシャン

残り12個

ネス「また見つけた。」

ガシャン

残り11個

ミッション終了まで6分を切った。

残り981..00

打ち止め「なんかピエロがいるよ!とミサカはミサカは驚いてみた
り。」

ピエロ「僕は世界レベルのピエロだよ。君の名前はラストオ―ダ
―だったかな?」

打ち止め「なんか言い方変だよ。ってミサカはミサカは言い返して
みたり。」

ここで言うピエロとは、焼きたてジャぱんに登場するフランスのピ
エロ・ボルネーゼのことです。

打ち止め「ミッション行くの?ってミサカはミサカは質問してみた
り。」

ピエロ「世界レベルのピエロともなればミッションなんて簡単さ。
―

打ち止め「おお―、頼もしい。ってミサカはミサカは拍手してみた
り。」

こいつらの会話は終わりそうにないので次いきましょう。

ソニック「見つけた!」

ガシャン

残り10個

さらに立て続けに7個もハンターボックスを封印。残り3個となった。

残り976…30 ミッション終了まで残り1…30

??? 「あつ、ハンターボックス……。裏切り者だけどやっておくか。」

ガシャン

残り2個

ミッション終了まで残り30秒

ネス 「もう残り30秒しかない！」

黒柳 「これで大丈夫なのか？」

このままだと2体のハンターが放出され、ハンターの数 は5体となる。

アウレオルス 「ハンターボックスか。向こうにあるから止めに行こう。」

しかし前方からハンター。

ハンター「……………！」

見つかった。

アウレオルス「ゲッ！ハンター！」

一生懸命逃げるアウレオルスIIイザード。しかし・・・。

ポン！

アウレオルスIIイザード確保。残り145人。

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

プシュー！

2体のハンターが放出され、ハンターは5体となった。

元春「ハンター5体か。ちょっとヤバイかもしれないにゃ。」

「???」「これが裏切り者にとって吉と出るか凶と出るか・・・。まあ5体くらいがちょうどいいんだろうな。」

レアライトロード「青ピクミン見つけた。」

青ピクミン「あつ、レアライトロードさん。逃走成功への道ってわかりますか？」

レアライトロード「私は信用しない方が良いよ。7割方間違っているからね。」

青ピクミン「それでも一緒に行動しませんか？」

レアライトロード「良いよ。」

その頃、タブーは。

タブー「やっとできた。新開発の亜空間爆弾だ！」

郡司「爆弾・・・？」

タブー「さあ、お前！これをつけろ！」

郡司「ええええええー！ー！ー！ー！」

タブー「それはハンターに捕まったら爆発するからな。」

郡司「なにいいいー！ー！ー！ー！」

タブー「さあ、外に出ろ。そして確保されて来い！そうすれば五武山市は俺のものだ！」

郡司さんはタブーのアジトを追い出されてしまった。

郡司「ハンター来たら爆発しちゃうんだ。」

マスターハンド「なんだって！」

その情報はすぐマスターハンド達管理側に知られた。

ほーき雲「どうしましょう？」

マスターハンド「これはどうやら40分で効果が消えるみたいだ。」

ほーき雲「そうだ、アレを使ってみませんか？アレがあれば20分

で効果が消えますよ。」

マスターハンド「しかし、アレがどこにあるというのかな？」

ほーき雲「あります。エリア内8ヶ所のある店に行けば……。その総合店長のDという人に連絡してみます。」

マスターハンド「頼んだぞ。ほーき雲。」

残り時間970..00 逃走者145人

続く

MISSION 1 終了（後書き）

タブー「管理側と手を組めばたやすいことだ。ハッハッハッ。」

そして次回はミッション2です。

MISSION 2 (前書き)

郡司さんの役目が多いのがこのMISSION 2。

MISSION 2

プルルルル

メールだ。

リユカ「ミッション来た！」

「【MISSION 2】現在、募集参加の郡司侑輝さんがタブーが新たに開発した亜空間爆弾を背負ってエリアを歩いている。もし、郡司さんがハンターに捕まれば、郡司さんがいた場所から半径1km圏内が亜空間となり、そこにいた逃走者は強制失格となる。阻止するには、残り930分まで郡司さんがハンターに捕まらないように守れ。なお、エリア内8ヶ所にある『YAMAD'S SHOP』で『亜空間阻止装置』を手に入れば残り950分まで守れば良い。また、これより一時的にデパート五分五分に進入可能とする。」

ネス「さっきの場所だね。Dさんからもらおう。」

ネスは先程出会ったDのもとへ。

それ以外の者もYAMAD'S SHOPを探しに行く。

そんな中、ある人物が五武山市に到着した。

スライマン「えーっと、Dさんだっけ。」

それは募集参加のスライマンさんだ。スライマンさんはどうやらDに用があるらしい。

一方、YAMAD's SHOP本店では。

D「新しく学園都市にYAMAD's SHOPをオープンか。店長のスライムマン君が来るというのにいきなりほーき雲から亜空間阻止装置を用意してくれと言われてもね……。まあ在庫はあるからいいんだけど。あまりにも忙しすぎるよ。」

そこにネスが現れた。

ネス「Dさん、亜空間阻止装置ください!」

ネスは逃走者用永久無料券を提示して言った。

D「ほらよ!」

ネス「ありがとう!」

ネス、亜空間阻止装置獲得。

一方、郡司さんに直接向かう逃走者もいる。

しら「おーい!」

しらさんと

ウルフ「おっ、しらもいるのか。」

ウルフだ。

郡司「しらさんにウルフか。どうか守ってください。そうしないと背中の爆弾が・・・。」

ウルフ「大丈夫だ。タブーの思うままになるスマブラメンバーはいねえ。」

そんな郡司さんのところに電話がきた。郡司さんにも直接電話することは可能だ。

郡司「ネスからだ。」

ネス「郡司侑輝さんですね。今亜空間阻止装置を手に入れてそちらへ向かうところなんです、今どこら辺にいますか？」

郡司「ここはYAMADA'S SHOP本店の近くですね。」

ネス「あつ、そこそこ近いんですね。今すぐ向かいます。」

郡司「お願いね！」

成歩堂「今すぐいかなきゃ。」

成歩堂龍一は自身の性格上、よくミッションに行くようだ。

しかしその近くにハンター。

成歩堂「うわっ、ハンターだ。」

ハンターに気づいて逃げる成歩堂。

ハンター「!！」

見つかった。

それなりに足も早く、うまく逃げている様子だがハンターとの距離は近くなっていく。そしてついに……。

ポン!

成歩堂龍一確保。残り144人。

???「全然出番ねえ。」

通報のチャンスが訪れず、イライラする裏切り者。しかし、裏切り者が2人目の獲物を見つけた。

???「ペコちゃんかよ。」

ペコちゃんだ……。

???「ペコちゃん、牢獄付近にいます。」

その頃、裏切り者に通報されていることに気づかないペコちゃんは・
・・。

ペコちゃん「いろいろときついよね。」

確保された人と話していた。

背後から来ているハンターに気づかない。

牢獄の者「ペコちゃん、ハンター来たぞ！」

しかし時すでに遅し。

ポン！

ペコちゃん確保。残り143人。

牢獄の者「あぁー!。」

ペコちゃん「えっ、裏切り者の通報なの？」

牢獄の者「裏切り者かよ。」

残り963..00

ネス「郡司さん！」

郡司「ネス！」

郡司さんとネスが合流。ネスは亜空間阻止装置を使用する。これで、ミッシュン終了まで残り13分となった。

しかし4人の近くにハンター。

ハンター「……!!」

見つかった。

4人「ハンター!」

一斉に逃げる。そして別れ道でウルフとそれ以外に分かれる。ウルフは少し立ち止まり、ハンターをおびき寄せる。ウルフの思惑通り、ハンターはウルフの方へ走って行く。

ウルフ「こっち来て見やがれ!」

ハンター「……?」

うまく撒いたようだ。

郡司「ウルフの確保情報が来ない!」

ネス「逃げ切ったんだ。良かった。」

残り960..00 逃走者143人

続く

ミッション2中編

ミッション終了まで残り10分。それまで郡司侑輝さんを守るしらさんとネス。ウルフはハンターから郡司さんを守るためにハンターをおびき寄せた。ハンターは撒いたものの、3人から離れてしまった。

ウルフ「俺の役目は終わりだ・・・。」

ウルフはこれ以上はミッションに参加しないようだ。

いも「どうでしょう?」

いも2「どうかね。」

謎のオリキャラ、いもといも2。しかしその命は短かった。

いも「ハンター!」

ハンター「!」

見つかった。

いもといも2、共に足は恐ろしいほど遅かった。

ポン!×2

いも、いも2確保。残り141人。

ライブラリ「あはは、バカだね。」

あなたいましたっけ？

ライブラリ「ちょっと牢獄前にいるだけだけど何か？」

マリオ「何でもないってことにしとけよ。」

そういうことにして、別の人を見てみよう。

御剣「ハンターはいないか。」

逆転裁判でも冷静な性格の御剣伶侍。

御剣「ミッションはハイリスクだな。」

ミッションは行かないようだ。

芳川「これがデパート五分五分ね。」

デパート五分五分が進入可能ということで中に入る芳川桔梗。

それについてリュカと藤江が入ってきた。

藤江「デパートの中もそれなりにいいじゃん。」

サムス「ハンターがいる。」

バウンディングハンターがハンターを見つけた。幸いハンターは気づいていない。

サムス「早く動かなきゃ。」

どうにかなったようだ。

その頃、Dを探すスライマンさんは、ある逃走者に会った。

スライマン「ねえ、ちょっと君。助けてくれないかなあ？」

ファルコ「何だ？誰だ？」

ファルコだ。

スライマン「何だ鳥かあー。」

ファルコ「何だよその言い方！助けないぞ！」

スライムマン「ごめんなさい。助けてください。」

ファルコ「どうすれば良い訳？」

スライムマン「YAMAD's SHOPの総合店長のDっていう人に会いたいんだけど。」

ファルコ「しょうがねえ。案内してやるよ。」

ファルコがスライムマンさんを案内する。しかしその先には・・・。

一方通行「あアン？」

アクセラレータ
一方通行だ。

ファルコ「頼む。この人をDのところへ案内してやるのについてきてくれ。1人じゃハンター来た時に不安なんだ。」

一方通行「わかったよオ。」

これにより、スライムマンさんはファルコと一方通行の2人でDのところに案内するようだ。

しかし、いきなりハンター。

ファルコ「ハンター来た！」

ハンターが視界にとらえたのは・・・。

ファルコ「よりによってこっちか！」

ファルコだ。

ポン！

ファルコ確保、残り140人。

一方通行「アイツいきなり捕まってンじゃねエよ。どういうつもりなんだア？」

とか言いながらもスライムマンさんを案内する一方通行。

当麻「あんなやつがいたらさらに不幸になってしまう。」

外辺久と別れた上条当麻。その近くにハンター。

当麻「うわっ、不幸だ……。」

美琴「なんだ、アンタか。」

ではなく御坂美琴だ。

当麻「なんでここまで来てビリビリに会わなきゃいけないんだよ！」

美琴「何その言い方！私には御坂美琴っていうちゃんとした名前があるの！」

当麻「じゃあな。」

美琴「ちょっと、待ちなさいよ！」

何か叫んでいるようですが気にしません。
ダッシュダッシュ。

美琴「無視すんなったのー！」

ここには美琴アナタの出番イベントなんてありませんのことよ。

美琴「おい！　いくら何でもこの扱いはあんまりだとか思わないのーっ！？」

繰り返しお伝えしますが気にしません。
ダッシュダッシュ。

ミッション終了まで約20秒。

しら「ハンター来たよ！」

ネス「あと20秒……。なんとか耐えるよ！」

郡司「20秒逃げ切るぞー！」

郡司さん、そして五武山市の運命は！？

残り950..20。逃走者140人。

続く

ミッション2中編（後書き）

こんなところで亜空間爆弾が爆発したらヤバイっつーの。

ちなみにネスと一方通行の出番が多いのは好きなキャラクターだから。

まさかの事態（前書き）

ハンター大量放出。そしてあの人の確保!？

まさかの事態

ミッション終了まで残り20秒。しかし3人を追うハンター。逃げ切れるか!?

どンドンハンターとの距離は近くなっていく。もうだめかと思った次の瞬間だった。

ドン!

何かにぶつかった。

10035「3人も出てきて何してるのですか?とミサカは質問します。」

シスターズ
妹達の検体番号10035だ。

10035はハンターが来ていることに気づいていない。

10035「!!」

ポン!

御坂妹10035確保。残り139人。

ミッション終了まで5秒

3

2

1

0

ミッション終了

郡司侑輝さんを守った。ミッション成功だ。

郡司「やった！」

ネス「良かった！」

牢獄では

全員「やったー！！！」

その頃、囹になったこいつも・・・。

ウルフ「どうにかなったじゃないか。」

みんなでミッション成功を祝った。

ただし、この男には祝う余裕などなかった。

一方通行「面倒だなア。」

一方通行だ。まだスライムマンさんを連れて歩いていた。一方通行のくせに。

そして、タブーはといいますと。

タブー「またマスターハンドとスマブラメンバーに妨害されたー。」

ミッション成功はタブーにとっては作戦の失敗を意味する。

タブー「今度はこっちが向こうを妨害してやるんだ！」

そしてほーき雲達がいる管理室では。

ほーき雲「なんか機械の様子がおかしいですよ！」

ERROR! ERROR!

マスターハンド「なんだこれは……。」

アレイスター「何者かの妨害と思われる。」

ほーき雲「通信が入りました!」

マスターハンド「これはタブーからじゃないか!」

タブー「やあ、マスターハンド、また邪魔をしたな。」

マスターハンド「お前に協力する訳ないだろ!」

タブー「まあいい。おい、お前ら知ってるか? 今その空間には亜空間爆弾が仕掛けられているんだぜ。」

ほーき雲「なんだって!」

タブー「言うことを聞かなければ遠隔操作で爆発しちゃうよ。」

ほーき雲「おとなしく話を聞けって訳だね。」

タブー「それじゃ、15分以内に100体のハンターを放出しろ。さもないと……。」

マスターハンド「わかった。やむを得ない。」

タブー「放出させなかったりしてみろ。そしたらお前達は全員死ぬんだからな。」

そして、タブーとの通信は切れた。

機械も元に戻った。

さらに、ある物が管理室に運ばれた。

ほーき雲「これはDからだ！『亜空間阻止装置2』って書いてある。おっ！これを使えば20分後に亜空間爆弾の爆発を阻止できるぞ！」

マスターハンド「ほーき雲、亜空間爆弾を見つけたぞ！」

ほーき雲「よし、これでOK！現在残り945分か。ハンター100体放出は5分間だけで良さそうだ。」

プルルルル

メールだ。

『【通達1】残り930分から925分までの5分間、ハンターを100体放出する。気をつけたまえ。』

ゴドー「おいおい、それはヤバくないか？」

松代「5分間とは言え捕まるかもしれないぞ。」

裏切り者「通報なんてしてたら捕まるかも……。」

裏切り者も通報しにくくなった。裏切り者が通報すれば、ハンター

が通報された者の近くに来る。しかし、裏切り者と通報された者の距離は近い。よって、裏切り者とハンターの距離も近い訳だ。さらに、ハンターが100体放出された後は105体。裏切り者自身が逃げられない可能性が高いのだ。

スネ夫「・・・ってハンター100体放出前からハンター見つけちゃったよ！」

ハンターを見つけたスネ夫。

ハンター「・・・！」

見つかった。

スネ夫「離れないと・・・。」

スネ夫はその場を離れようとするが、見つかったことに気づいていない。

スネ夫「・・・ってうわっ！」

ポン！

骨川スネ夫確保、残り138人。

のび太「あっはっは、スネ夫捕まったよ。」

裏切り者「もっと通報したい！」

なかなか他の逃走者を見つけれない裏切り者。しかし、やっと3

人目の標的を見つけた。

裏切り者「おっ、あの人は募集の人・・・誰だっけな・・・。」

えっ、まさか？

しら「ミッション終わって楽になったと思いきや、今度はハンター100体かよ。捕まるかもなあ。」

いやいや、裏切り者に見つかってますよ！

しかし

裏切り者「本当にあいつ誰だ！？」

えっ、やっぱり名前出てこないの？

裏切り者「名前なんだ？」

必死で考える裏切り者。ついに・・・。

裏切り者「そうだ！しらだ！」

やっぱり思い出した裏切り者。しかし……。

裏切り者「あれ？いねえ……。」

考えてる間にどっか行ったようです。

裏切り者「見つけた！」

そしてすぐ見つかったようです。

裏切り者「しら、五武山駅付近にいます。」

しかも、運悪く近くに1体ハンターがいた。

しら「えっ、ハンター！？」

逃げ出すしらさん。

しら「ヤバイ、これはヤバイって！」

ほーき雲「えっ！しらさんが裏切り者に通報されて追われてるぞ！」

管理側も気づいた。だからといって手が出せる訳がない。

ポン！

しらさん確保、残り137人。

ほーき雲「まあ大丈夫ですよ。95%の確率で復活ゲームありますから。」

あるに決まっています。たぶん……。

一方通行「ホラ、早くついて来いよ。お人好しじゃないンでねエ、置いてくからなア。」

スライムマン「やっぱり一方通行アクセラレータだなあ。この人。」

だって一方通行アクセラレータだもん。ところでスライムマンさん。一方通行知っていますか？一応知っているという設定になっていますが……。

そこに怪しい影……。

スライムマン「わっ！プリム！」

プリムがスライムマンさんに襲いかかってきた。

一方通行はすぐそれに気づき、自らの力『反射』を発動させた。

プリムは一方通行を殴ろうとした瞬間、『反射』を受け、自滅した。一方通行による案内でよかったと思う瞬間である。もしペコちゃんとかだったらどうしようと思ったよ……。

牢獄にて

ペコちゃん「ハクション！誰かうワサしてるのかな？」

ライブラリ「ペコちゃんがくしゃみとか似合わないよ。」

どうやらライブラリは牢獄前にいたいようだね。

ナミ「もうすぐハンター放出じゃん！」

実はハンター放出まであと10秒である。

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

ダダダダダダ・・・・。

ハンター放出。これより5分間。ハンター105体となる。

残り時間930..00 逃走者137人

続く

まさかの事態（後書き）

次回は確保ラッシュです。

確保ラッシュと復活ゲーム（前書き）

管理側の物語、確保ラッシュ、復活ゲームの3本立てでお送りします。

確保ラッシュと復活ゲーム

ほーき雲「どーゆーことだい!!!」

ほーき雲がこんな状態になった理由はしらさんの確保。最初は認めていたが、後に考えを変えて現在に至る。

Q1. このあとほーき雲がとる行動は？

A. しらさんを確保したハンターを『破壊』。

B. しらさん無条件復活。

C. 管理役を投げ出す。

D. この事はなかったことにして、残り932分あたりから再スタート。

答えは下。とにかく下。

まだまだ下。

シンキングタイム終了。結論から言えば答えはA。その経緯を見て
みましょう。

ほーき雲「デッドエンド進入禁止さん。お願いします。」

デッドエンド進入禁止「わかったぜ。このハンターだな。簡単な話だぜ。」

他力本願のほーき雲なのであった。しかし、これでハンターは10
4体となった。

ほーき雲「あれ？そういえばこれをやってもしらさんの利益になら

ないじゃん。」

今になって気づいたほーき雲。

ほーき雲「しばらく引きこもるね。」

マスターハンド「待て、ほーき雲。」

ほーき雲「どうしたの？」

マスターハンド「これはクロノス社からもらったものだ。『逃走中』とは、意外性が大事である。意外なことが起こるからこそ、逃走中は楽しいんだ。想像もできないミッション。もつと逃げるであろう逃走者の確保……。誰も先のことを知らない。だから意外なことがたくさんある。それを楽しむのが逃走中だ。』俺達が逃走中を管理するにあたって、クロノス社からこんな名言をもらったんだ。しーさんの確保。それは1つの意外なことだ。人に予想されるなんてつまらないだろう？」

ほーき雲「……。」

マスターハンド「さあ、管理を続けようぜ。」

ほーき雲「そうですね。さらにマスターハンドがこんなことを言うなんて意外なことです。」

マスターハンド「なんだそれ！まるでいつもいいこと言わないってことか！」

アレイスター「そういえば私の出番少くないか？」

2人「それは気のせい。」

以下確保ラッシュの5分間です。

まず最初に見つかったのが・・・。

シェリー「やっぱ100体やべえー。」

シェリー「クロムウエルだ。」

ポン！

シェリー「クロムウエル確保、残り136人

キノピコ「きゃーー。」

ポン！

キノピコ確保、残り135人。

ソニック「見つかったよ！」

ソニックまでもが見つかった。

しかし逃げた先にスネーク。

スネーク「おい、ソニック！ハンター連れて来んなよ！」

ソニックは無視してスネークを抜いていく。

スネーク「うおおおお。」

ポン！

スネーク確保、残り134人。

赤ノコノコ「無理だよー。」

ポン！

赤ノコノコ確保、残り133人。

梓川雪乃「見つかる訳にはいかないよ！」

しかし、梓川雪乃の近くのハンターは別の逃走者を見つけた。

狩魔冥「えっ、ハンター！」

ポン！

狩魔冥確保、残り132人。

あやしいネコ「はい、もう捕まります！」

ポン！

あやしいネコ確保、残り131人。

由衣「あののっぺらぼう捕まった☆」

ポン！

物上由衣確保、残り130人。

由衣「そこにハンターいたの〜。」

クッパ「ハンター速っ！」

ポン！

クッパ確保、残り129人。

緑パタパタ「無理だ〜。」

ポン！

緑パタパタ確保、残り128人。

10

9

8

7

6

5

4

ポン！

3

2

1

0

さらにピット確保、残り127人。

ハンター100体消滅、しかし、デッドエンド進入禁止が1体破壊したので、1
体追加されてしまった。ハンターは5体。

ネス「あれ？時間止まったよ。」

さらに、時間が止まった。

その頃、牢獄には管理側の3人が現れた。

ほーき雲「これより、復活ゲームを始める。」

マスターハンド「このくじを引いて、色がついたくじを引いたら復活だよ。」

ほーき雲「あと、ファルコは無条件復活ね。」

ファルコ「やった!」

全員「えー。」

ファルコ「もしかしてあの☆マークの力かな?」

ほーき雲「その通り!ファルコはオープニングゲームのくじ引きで☆マークを引いたよね?それは復活ゲームでの無条件復活を意味していたんだよ。」

アレイスター「他のやつはさっさとくじを引きな!」

みんなくじを引いた。

しら「赤だ!」

緑パタパタ「青!やった!」

成歩堂「緑だね。」

マリオ「黄色!?これで復活できるの!?」

ほーき雲「しらさん、緑パタパタ、成歩堂龍一、マリオ、ファルコ復活ね。そしてファルコ、赤、青、緑、黄色の中から1つ選んで。」

ファルコ「じゃあ黄色。」

マスターハンド「じゃあ5人は逃げていいよ。」

5人「やった〜。」

残り時間925..00 逃走者132人

続く

確保ラッシュと復活ゲーム（後書き）

黄色が怪しい、マリオが危ない。

アレイスター「やっぱり出番少くないか!？」

それは気のせい。

ゲーム再スタート（前書き）

ゲーム再スタートの前に。

ゲーム再スタート

タブー「おい、なんでハンター消滅させてんだよ！ふざけんな！亜空間爆弾爆発させるぞ！」

タブーは亜空間爆弾を爆発させようとしたが、亜空間阻止装置2を使ったため、爆発しなかった。

タブー「はかったな！」

そして管理室。

マスターハンド「あっはっは、タブーが困ってるぜ♪」

ほーき雲「いい気味だぜ。」

ゲーム再スタート

残り時間925…00 逃走者132人。

ここで裏切り者に関するヒントをあげます。

裏切り者はしらさんの名前を思い出すのに時間がかかっていました。つまり、スマブラメンバーではない可能性が高いのです。例えばとある魔術の禁書目録インデックスのキャラクターとかね。そして途中で疑われてるのが……。

当麻「まさか一方通行が裏切り者？」

インデックス「あくせられーたならやりかねないね。」

一方通行「もうすぐ着くぞ。」

スライムマンさんを案内中の一方通行だ。アクセラレータ彼はまだスライムマンさんを案内している。よって、裏切り者ではない。

一方通行「ホラ、ここじゃねエのか。」

スライムマン「ありがとう！」

D「よく来たね。スライムマン君。君は学園都市店の店長として頑張ってもらうからね。」

スライムマン「お願いします！」

D「そうそう、君。スライムマン君を案内してくれてありがとう。これを持っていくといいよ。」

一方通行に渡されたのは網。これで一時的にハンターを止めることができる。

一方通行「いいアイテムじゃねエか。」

リユカ「一方通行良いな。」

偶然それを見ていたリュカ、あることを思い付く。

リュカ「そうだ！一方通行についていこう。そうすれば僕がハンターに追われても止めてくれるだろう。」

意外と知恵を働かせるリュカ。

ロビン「いろんなのがあるのね。」

エリアを見渡すロビン。

ポン！

ロビン確保、残り131人。

エリアの町並みばかり見ていてハンターに気づかなかったようだ。

続いて、先程復活したしらさんを見てみましょう。

しら「あれ？あなたは？」

雪乃「あら？しらくんじゃないの？」

しら「へ？」

雪乃「私は梓川雪乃よ。どうぞよろしく。」

しら「あつ、どうも。」

そう言うのと梓川雪乃はどこかへ行ってしまった。

しら「なんかあの人やさしいお姉さんの感じの人だけど……。」

そして雪乃に代わってアフロで筋肉ムキムキの松代健が現れた。

松代「おい、お前。さっき一緒に話していた女について教えてやろうか。」

しら「えっ？」

松代「アイツはとんでもない悪女だ！」

しら「そんなはずない！だってあの人やさしかった。」

松代「本当の悪女はな、敵の前では悪い所を見せないんだよ。」

裏切り者「いたいた。」

裏切り者に見つかったしらさんと松代健。

裏切り者「松代健、しら。長倉公園の近くにいます。」

しら「ハンターだ！」

ハンター「……！！」

見つかった。

ハンターが視界にとらえたのは・・・。

松代「げっ、こっちか・・・。」

松代健だ。

松代「ヤバイ！けっこう早いぞ！」

松代が見つかったのは1回目。少し見くびっていたようだ。

ポン！

松代健確保、残り130人。

しら「松代さん捕まった。本当にあの人悪い人なのかなあ？」

雪乃「ヒャーッハッハッハ。あんなやつ騙しまくってボロボロにしてやるわぁー。」

雪乃は悪いやつです。

雪乃「あの邪魔なアフロが捕まってくれたのは嬉しいけど、変なこと
と言いやがって。でも大丈夫よね。アッハッハ。」

絶対悪いやつです。

その頃、タブーのアジトでは。

天井「どうも、あまいあお天井亜雄です。」

タブー「お前がハンターにハッキングしてくれるんだな。」

天井「ハッキングなら任せてください。」

タブー「この検体番号10001〜13000までだ。頼むぞ。」

天井「あなたこそ、借金返済頼みますよ。」

管理室では。

マスターハンド「ほーき雲、ハンターネットワークって知ってるか？」

ほーき雲「ミサカネットワークみたいなものですか？」

マスターハンド「その通り、ハンターも妹達シスターズと同じように20000体クロンがいてな。それを全て1つの機械でコントロールしているんだ。これがハンターネットワークだ。ちなみに学園都市の技術供与を受けて作ったんだぞ。」

ちなみに今動いているのは検体番号1と3と5、そして127である。(検体番号2は進入禁止によって破壊された。その代わりが検体番号127である。)

ほーき雲「(・・・ということはハンターにもきつと・・・。)」

ほーき雲が想像してることは一体なんだろうか。

赤ピクミン「紫のやつ。1番に捕まりやがって・・・。」

実はピクミン全員で生き残ろうとピクミン達で決めたのだが、紫ピクミンは1番に捕まった。それを赤ピクミンは怒っているのである。赤ピクミン「紫許せない。」

フォックス「チッ、ハンターいたよ。」

フォックスの視界の先にハンター。しかし、フォックスは隠れているため、見つかっていない。

フォックス「・・・・・・。」

じっと耐えるフォックス。

ハンター「（誰もいないか・・・・。）」

そのまま通り過ぎて行った。

冠「ハンター来ませんね。」

ルフィ「なんだお前？」

冠「あなたも逃走者ですか？」

ルフィ「おう！」

冠「一応あっちはハンターいないようですけどそちらはどうですか

「？」

ルフィ「大丈夫だぞ。」

冠「それはよかった。今のところ安全なようですね。」

藤江「あれ？デパートのドアが開かない。」

芳川「おかしいわね・・・。」

デパート五分五分ふんぶんの中にいる芳川桔梗とクロノス社支部の藤江。

そこへメールがやってきた。

藤江・芳川桔梗「えっ、そうなの？」

実は、このデパート五分五分はいざというときのための非常エリアだった。安全が確認されたため、ドアの鍵を開ける。10分以内にデパートを出なければ強制失格という内容だった。

藤江・芳川桔梗「それじゃあ出よう。」

2人ともデパート五分五分を出た。

ウソップ「うわっ。」

出た先にはウソップがいた。

藤江「ここはもう入れないぜ。」

ウソップ「えっ、そうなの？ せっかく入ろうと思ってドア無理矢理開けるつもりだったのに。・・・ってハンターだ！」

藤江・芳川桔梗「ヤバイ！」

3人の運命は！？

残り時間908..30 逃走者130人

続く

ゲーム再スタート（後書き）

いろいろと感想待ってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4121y/>

大規模過ぎる五武山市での逃走中～スマブラ+とある魔術の禁書目録+α～

2011年11月23日19時55分発行